

令和元年11月5日

## シシャモの河川遡上予測について

北海道立総合研究機構  
栽培水産試験場

シシャモの河川遡上時期について下記のとおり予測を行いました。終漁日決定等の際に参考にしていただければ幸いです。

道南太平洋海域のシシャモは産卵期になり、雌の卵巣重量が体重の1/5～1/4に達すると河川へ遡上を開始することが知られています。このことから、水産試験場の成熟度調査では平成26年以降、生殖腺重量指数（GSI：卵巣重量÷体重×100）が22に達すると推定される日を遡上開始日として予測しています。また例年、予測遡上開始日から数えて5～13日後に河川でのふくべ網調査による捕獲ピークがみられています。

令和1年10月7日から11月4日にかけて鶴川沖、日高富浜沖で漁獲されたシシャモ雌（鶴川8回、富浜8回、計1,586尾）の成熟度調査を実施しました。調査期間中のGSIは近年に比べ遅いペースで推移しました。GSIが10を超えた10月22日以降11月1日までのデータを用いた結果、GSIが22に達するのは11月10日と推定されました。従って、**遡上開始日は11月10日、遡上盛期は11月15日～11月23日**と予測されます（図1）。

例年、遡上日の異なる（GSIの異なる）複数の群れが海域に混在しており、各群の資源量と遡上時期次第では遡上盛期にズレが生じることも予想されます。資源の維持安定のために遡上する産卵親魚を確保するという観点からは、遡上前にできるだけ早く終漁することが望ましいと考えられます。

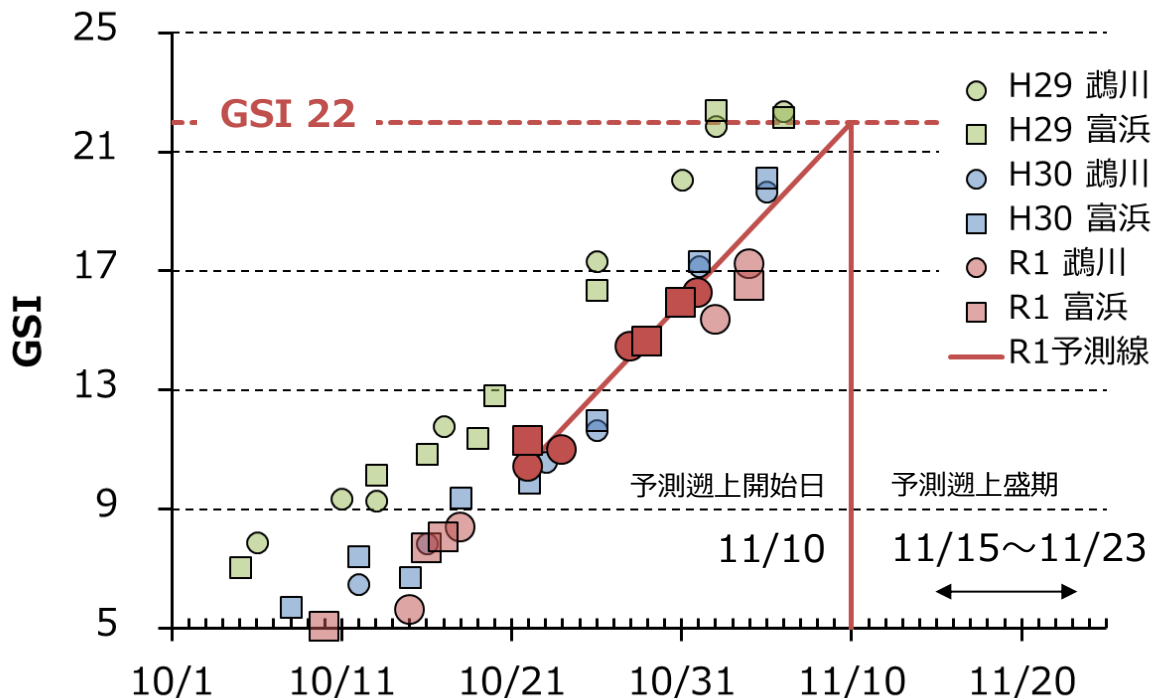


図1 生殖腺重量指数（GSI）の変化から予測したシシャモの遡上開始日

連絡先 0143-22-2327  
調査研究部 管理増殖グループ